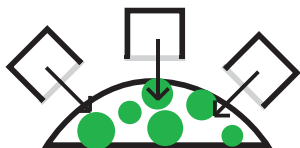


7. 公園から伸びる遊歩道と広場  
(代々木公園)

○公園と幹線道路が近くにあるとき、両者を繋ぐよう緑地を設け、視覚的、空間的に公園を幹線道路に顕在化させる。

参考：7. 公園から伸びる遊歩道と広場

公園が幹線道路に面している場所が少ないことは既に指摘した。公園と幹線道路の間に公園から幹線道路に向けて凸状に伸びる緑地をつくることで、緑地を幹線道路に面するように拡張する。この新たな緑地は、公園へのアプローチ空間であると同時に広場的な性格を持たせ、面する敷地にカフェなどをつくり賑わいを生み出す。

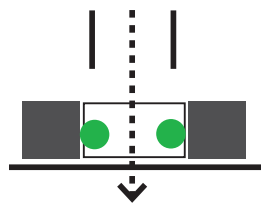


12. 小公園を囲い込む空間  
(代々木公園)

○公園周辺の低地で、視覚領域が木造密集住宅地を緑に戻し、公園と隣り合う緑地とする。

参考：12. 小公園を囲い込む空間

公園に隣接していながらも、低地で密集市街地で街路パターンも不整形である場所は、公園の環境と繋がりを持っていない。こうした場所に公園と向かい合うように緑地をつくる。隣接する場所が低地であるので、公園はそれより高いところにある。そのため樹木の見えがかりが大きくなることを利用して、新たな緑地を公園の緑を眺める場所とし、周辺の宅地からもこの小公園越しに公園の緑が見えるようにする。また緑地を囲い込むように建物を建てることで、緑地を核としたまとまりのある場所とする。



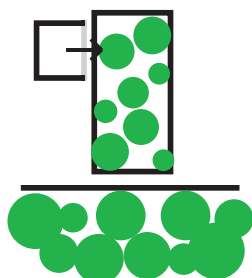
6. 公園へ視線が通る小公園  
(木場公園)

○公園に宅地が直に面している場所に、道路が公園へと繋がるように宅地を緑地にする。

参考：6. 公園へ視線が通る小公園

#### 11. 公園に隣接する小公園とカフェ

公園と宅地は接しているが、アクセスが公園とは反対側の道路からなので、公園に対しては背を向けている。公園に向いた道路が宅地に突き当たる場所を空地とする。公園と連続する入り口に小公園ができることになり、道路から公園への視線が通り、周囲に公園の存在が顕在化される。空地と隣合う宅地は、その小公園との繋がりを持つために、住宅からカフェなどパブリック性のあるものに変わることが望ましい。



11. 公園に隣接する小公園とカフェ  
(自然教育園)

## 参考文献

---

### 公園・緑地に関する文献

- 石川幹子 「都市と緑地」 岩波書店  
田中正大 「日本の公園」 鹿島出版会  
小野良平 「公園の誕生」 吉川弘文館  
田中正大 「東京の公園と原地形」 けやき出版  
渡辺達三 「「街路樹」デザイン新時代」 裳華房

### 江戸・東京の都市論に関する文献

- 槇文彦 他 「見えがくれする都市」 鹿島出版  
陣内筑摩 「東京の空間人類学」 筑摩書房  
芦原義信 「街並みの美学」 岩波書店  
樋口忠彦 「景観の構造」 技報堂出版  
樋口忠彦 「日本の景観」 筑摩書房  
「都市の街割」 材野博司 鹿島出版会  
オギュスタン・ベルク 「風土の日本」 筑摩書房  
鈴木理生 「江戸の川・東京の川」 井上書院  
越沢明 「東京の都市計画」 岩波書店  
越沢明 「東京都市計画物語」 筑摩書房

### 都市史（オープンスペースの歴史）

- K・リンチ 「都市のイメージ」 岩波書店  
都市史図集編集委員会編 「都市史図集」 彰国社  
C・ロウ F・コッター 「コラージュ・シティ」 鹿島出版会  
C・ジッテ 「広場の造形」 島出版会  
E・ハワード 「明日の田園都市」 鹿島出版会

### 都市デザインに関する文献

- 大野秀敏 編著 「エスキス03 建築のアイデアをどうまとめていくか？」 彰国社  
都市デザイン研究体 「日本の都市空間」 彰国社  
C・アレグザンダー 「パターン・ランゲージ」 鹿島出版会

### 研究論文

- 岸本泰明 「地域イメージに対する公園の影響－公園のブランド化について」  
(2002年度 東京大学大学院新領域創成科学研究科 修士学位論文)